

全ての座席でシートベルトと チャイルドシートの正しい着用を！



もし、後部座席で
シートベルトを
着用しないで
事故にあったら…



1 高まる致死率

事故の衝撃で、自分自身の身体が前席のシートや天井、ドア等にすさまじい力



でたたきつけられます。後部座席シートベルト非着用者の致死率は、着用者の約4倍となっています。

2 車外放出の危険性

時速40kmで車が衝突した場合、シートベルトを着用していない後部座席の乗員には、**体重の約30倍**



もの強い力がかかりますので、車外へ放り出されて、大ケガをしてしまう危険性もあります。

3 前席乗員への加害

もし後部座席の乗員が前席の背もたれに衝突した場合、前席乗員はシートベルトをしていたにもかかわらず、ハンドル等に顔を激しく打ちつけて、ケガをさせてしまう危険性があります。



このような座席後部からの衝撃には、エアバックが作動しないことがあることに注意が必要です。

●シートベルト着用効果を見るための実験映像はこちら

パソコン用▶ <http://www.seatbelt.jp>

携帯用▶



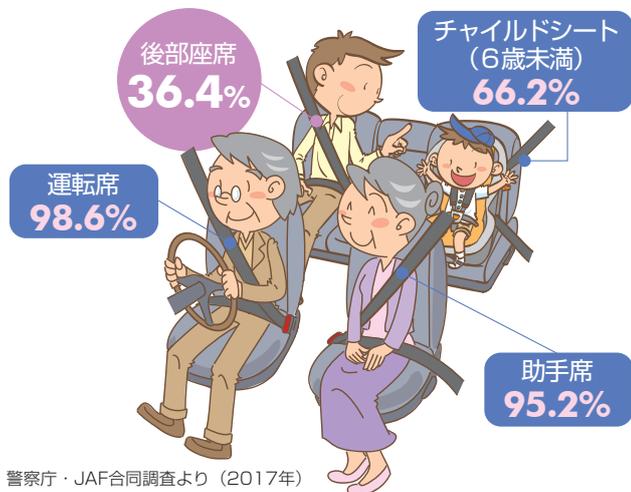
※動画再生にはパケット通信が発生します
※一部の携帯電話・スマートフォンでは、
閲覧できない場合があります

後部座席のシートベルト着用が義務付けられています！

後部座席のシートベルト着用率は、義務化後も、**36.4%**（一般道）にとどまっております。前席の着用率98.1%と比べて、大幅に低い状況となっています。

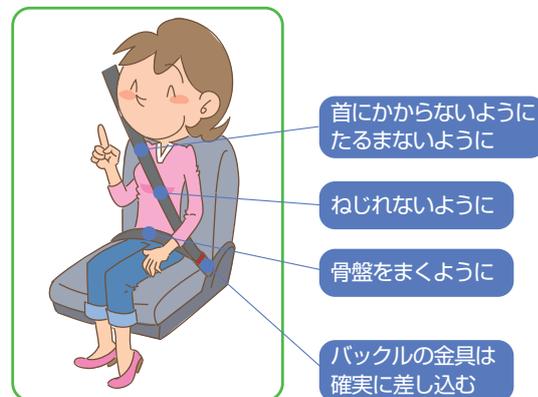
※高速道路での違反については、運転者に違反点数1点が課せられます。

●シートベルト着用率&チャイルドシート使用率



シートベルトは正しく着用しましょう。

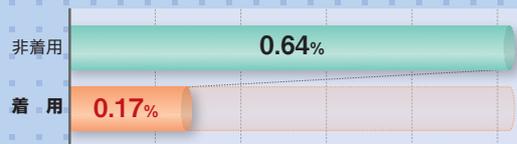
シートベルトは、正しく着用しなければ効果がありません。正しい方法によりきちんと着用しましょう（下図参照）。また、妊娠中の女性も適切にシートベルトを着用することで母体や胎児の安全を守ることができますので、医師とも相談の上、正しく着用しましょう。



後部座席でのシートベルト着用による被害軽減効果は？

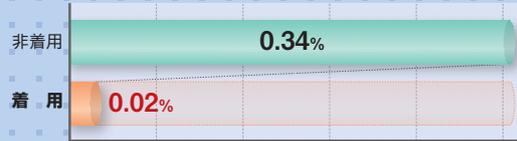
1 致死率は非着用の場合に比べ約4分の1

●シートベルト着用の有無による致死率比較



2 車外放出の危険性は約17分の1

●シートベルト着用の有無による車外放出死傷率比較



3 前席乗員への加害は約51分の1

●シートベルト着用の有無による前席乗員の頭部重傷率比較



発行 一般社団法人 **日本損害保険協会**

〒101-8335 東京都千代田区神田淡路町2-9

(業務企画部 防災・安全グループ)

TEL. 03-3255-1294 URL. <http://www.sonpo.or.jp>

編集制作 一般財団法人 日本交通安全教育普及協会

